

AVニュース エクスプレス

2002年教育映像祭「優秀映像教材選奨」に205作品が参加
 平成13年度文部科学省委嘱事業「メディアを活用した生涯学習活動の促進に関する調査研究」
 「第41回下中科学研究助成金」募集開始
 メディア教育開発センターのワークショップ「教養教育としての「メディア教育」入門」開催
 「第40回日本産業映画・ビデオコンクール」入賞作品

協会情報

■2002年教育映像祭「優秀映像教材選奨」に205作品が参加

日本視聴覚教育協会では、毎年教育映画、ビデオ、スライド、コンピュータソフトウェア(CD-ROM・DVD-ROM)の映像教材の製作振興と利用の向上を進展を図る目的で、標記選奨を開催している。今年度の部門別参加作品数は次のとおり。()内は前年。

〈映画の部〉14社・25作品	
学校教育部門	8作品(12)
小学校向け	8作品
中学校向け	0作品
高等学校向け	0作品
社会教育部門	7作品(11)
職能教育部門	0作品(4)
教養部門	5作品(5)
児童劇・動画部門	5作品(7)

〈ビデオの部〉(スライドを含む)

31社・155作品	
学校教育部門	79作品(58)
小学校向け	29作品
中学校向け	31作品
高等学校向け	19作品
社会教育部門	30作品(31)
家庭生活	7作品
市民生活	23作品
職能教育部門	23作品(31)
教養部門	23作品(18)
〈コンピュータソフトウェアの部〉9社・25作品	
学校教育部門	19作品(20)
小学校向け	11作品
中学校・高等学校向け	8作品
一般教養部門	6作品

■平成13年度文部科学省委嘱事業「メディアを活用した生涯学習活動の促進に関する調査研究」

日本視聴覚教育協会では、平

成11年度から、「メディアを活用した生涯学習活動の促進に関する調査研究委員会」(主査:坂元昂メディア教育開発センター所長)を設置し、文部科学省の委嘱を受け、新しい時代に合った生涯学習のための教育・学習システムの構築に必要な、学習機会支援・提供システム、成果の評価システム、学習ソフト等の整備・選択の充実に関し、調査研究を進めてきた。昨年度は第3年次として、ITを活用した生涯学習の方向性や、コンテンツ提供のあり方等について調査を実施し、このほどその成果をとりまとめた報告書を作成した。報告内容については当協会のホームページで公開中。
 (<http://www.javea.or.jp>)

AV情報

■「第41回下中科学研究助成

ブックレビュー



「幻燈の世紀—映画前夜の視覚文化史—」

岩本憲児著 森話社 2002年2月刊
A5判 269頁 3,600円(税別)

映画はもちろん、ビデオまでもが、もはや現代的なメディアの範囲からしめだされかねない状況にある今日、幻燈(スライド)は遠い過去の遺物であり、われわれの世界とはほとんど無縁のもののようにさえ思われがちである。

その思い込みを、この本は根底から打ちくだしてしまう。それくらいに充実し、迫力があり、興味を喚起し、引き込ませるものを持っている。それは本書が著者の以前に発表した論文を再構成した作品であって、学術的にかっちりとした骨組みをもっているうえに、著者がそれらの論文をまとめるにあたって、じつに幅広い文献や資料を駆使し(註記は261項目)肉付けしているからである。加えて、著者所蔵のものも含めて、数多く(大

小合わせて71枚)の図版が挿入され、論述の視覚化に努めているのも、本書の際立った特色といわなければなるまい。

本書の中心は、3章から成る「西洋編」と5章に分けられた「日本編」の、まさに「映画前夜の視覚文化史」にある。しかも幻燈以前の、17~19世紀にわたる、カメラ・オブスクーラから機械的装置による映像までを含めた歴史が、ハード面だけでなく、娯楽的あるいは教訓的な内容のソフト面にもふれて紹介されている。また、わが国では1874(明治7)年の再渡来(江戸時代にすでに影絵芝居等として渡来していたが)以来、明治30年代にかけて、娯楽や教育のメディアとして流行したことが詳述されている。(高桑康雄)

金」募集開始

(財)下中記念財団では標記助成金の募集を開始した。この研究助成金は、学校の先生方の教育のための真摯な研究を助成し、その発展を願うためのものであり、従来より、自然科学および科学教育にかかわる研究を重視しているものの、広く教育全般にかかわる今日的課題を取り上げた応募も期待している。

<対象とする専門分野>

①自然の部(算数・数学・理科教育・物理等11分野) ②人文の部(道徳教育・国語教育等5分野) ③その他の部(教育一般・特殊教育・保健体育等8分野)

<応募資格者>

全国小、中、高校の教員(教育センター、盲・聾・養護学校等を含む)を対象とし、研究は個人、共同を問わない。ただし応募は一人1点に限る。

<助成金額>

総額900万円。(1件当り30万円を30件に)。

<応募締め切り>

12月10日(消印有効)

<問い合わせ先>

(財)下中記念財団事務局
東京都新宿区市谷田町2-7
伊東ハイム301号
Tel 03(5261)5688

研究会情報

■メディア教育開発センターのワークショップ『教養教育としての「メディア教育」入門』開催

メディア教育開発センターでは、イギリスの公開大学(OU)と英国映画機関(BFI)が共同で開発した教師教育用教材パッケージ、「メディア教育入門」(Media Education: An Introduction, 1992)を用いるワークショップを開催する。

<開催日時>

9月5日(木) 11:00~16:30

<参加対象>

マスコミュニケーション研究、視聴覚教育、教師教育におけるメディア教育などに関心を持ち、教養教育にかかわる高等教育関係者。

<定員>

15名(先着順)

<会場>

メディア教育開発センター
研究棟2F第1・2会議室 千葉市美浜区若葉2-12

<参加費>

無料

<参加申し込み>

7月1日(月)~19日(金)の間に、下記のいずれかによる方法にて申し込み。

・ネットによる申し込み

http://www.nime.ac.jp/KENSYU/kensyu_h14/004_2/main.html

新刊紹介



「どんな生きもの? はちゅう類・両生類~カメ・トカゲのなかまとかエル・イモリのなかま~ (全2巻)」

文・写真/松久保見作 偕成社
2002年3月刊 25cm×21cm
各40頁 各1,500円(税別)

偕成社では、松久保見作著による、生き物の観察や採集から飼育まで、豊富な撮りおろし写真と、具体的な説明でわかりやすく解説した、生き物をテーマにした自由研究などに役立つ標記資料を発売した。

1巻「野外でみつけて観察しよう」と、2巻「家や学校で飼ってみよう」の全2巻からなる。

本書は、カメ、トカゲ、カエル、イモリ、サンショウウオなどの、はちゅう類・両生類がどのような暮らしをしているのかを観察し、また飼育することで、それらの動物を正しく理解し、彼らが自然のちょっとした環境の違いをたくみに利用しながら生きていることに気づくことを目的に作られたもの。

1巻「野外でみつけて観察しよう」では、自然の中で生きて

いるはちゅう類・両生類の暮らしを、会える場所(町中、里山、海辺)や季節ごとに分けて、紹介している。身近にいても意外に知らない彼らに、どこで会えるのか? また、どの季節に、どのような生態を見せてくれるのかを解説している。写真はすべて野外で撮影したもので、解説文も撮影時の観察にもとづいて書かれている。

2巻「家や学校で飼ってみよう」では、〈いる場所、採集と持ち帰り、飼育、繁殖、冬ごし〉などの項目に分け、それぞれの生物を家や学校で採集・飼育する際の具体的な方法を詳細に解説し、飼育はできるだけ自然に近い条件で行うようにしている。また、解説には写真が多用され、わかりやすく、理解しやすいように工夫されている。

・FAXによる申し込み
参加申込書(上記アドレスより入手)に必要な事項を記入し、FAX(043(298)3477)
<問い合わせ先>

メディア教育開発センター事業部ネットワーク課研修企画係
Tel 043(298)3107・3109
E-mail: KENSYU@nime.ac.jp

コンクール情報

■「第40回日本産業映画・ビデオコンクール」入賞作品

(社)日本産業映画協議会主催による標記コンクールの入賞作品が次のように決まった。

日本産業映画・ビデオ大賞「石を積む~石垣と日本人~」16ミリ、53分、文化工房

文部科学大臣賞「神々のふるさと 出雲神楽」16ミリ、41分、英映画社

経済産業大臣賞「世紀をひらく

イノベーター~永遠なるものと新しい風と~」ビデオ、16分、山陽映画、他9作品が入賞。また、奨励賞には、21作品が入賞。

短 信

■(株)毎日映画社は、5月31日付にて代表取締役社長の愛波健氏が退任し、新たに橋本紀彰氏が代表取締役社長に就任した。

■(株)中日映画社は、6月25日下記住所に移転した。

〒140-0001東京都品川区北品川1-10-2 ピラミッド品川ビル
Tel 03(3472)4437
Fax 03(3472)4446

訃 報

■出口進士氏(前(社)映像文化製作者連盟理事長、前(財)日本視聴覚教育協会理事、元テレビ朝日取締役)が、去る6月20

日、逝去された。享年70歳。喪主は妻聖子様。
自宅は横浜市緑区東本郷3-12-17

お詫び

■本誌6月号の『「教育の情報化」関連製品モニター校決定』記事に下記のような誤りがありました。お詫びして訂正いたします。(誤) プロジェクター「ELP-7350」エプソン販売(株)
(正) プロジェクター「ELP-730」「ELP-820」エプソン販売(株)
(誤) デジタル・ミーティング・アシスタント「mimio」コクヨ(株) / 宮城県登米郡中田町立上沼小学校
(正) デジタル・ミーティング・アシスタント「mimio」コクヨ(株) / 宮城県登米郡迫町立佐沼小学校